

まきストーブだより



Vol.1
H2O.7月

まき情報

◇ 火力と火持ちがいいのは **広葉樹** です



りんご (香りがいい)
山桜 (香りがいい)
アカシア (河川敷に多い)

他にも
クヌギ
ケヤキ
白樺

◇ 着火性と火力があるのは **針葉樹** です

杉 ヒノキ モウソウ竹 (割り箸もいいです)

◇ 注意!

乾燥方法により、煙突から粗悪な木酢液やクレオソートが滴り落ちます。

特に、横引きエントが長いと、煙が冷やされてつなぎ部分から滴り落ちることが考えられますのでご注意ください！！

(小林のお客様からの情報です)

◇ 対策!

- ・ 間伐材などの薪は屋根の下で半年～1年乾燥させる。
- ・ 割った薪はシート等をかぶせない → 蒸れの原因
- ・ 針葉樹と広葉樹を混焼させるとタールの付着も少ない。

まきストーブだより



Vol. 2
H20. 7月

燃焼考査



角材

角材（105×105×400）2本あれば
1時間～1時間半程度（空気調整口の開き具合による）

但し、角材はほとんどが杉であり、乾燥してるため、
火力はあるが、火持ちは短い。



薪

広葉樹と一緒に燃やすといいのですが、手に入りにくい人は、一度地域（市・町）の一般廃棄物処理場を訪ねて、せん定枝がもらえるとラッキーですね！！



固形燃料

それもなかなか...という人のために
新聞紙やシュレッダーダストで作った固形燃料が
おすすめです！

紙イモ燃料（焼き芋の形そっくりなもので）でしたら、
30分以上火持ちしますし、紙豆腐燃料でしたら
90分程持ちますので、お試し下さい。（現在試作中）



投入直後



10分後



20分後



30分後



まつぼっくり

ちなみに

まつぼっくりも火持ちがいいようです。

紙燃料の作り方

H20. 7 月

<作り方>

1. 準備するもの

- 1日分の新聞紙
- ビニール手袋 (イボイボ付が使いやすい)
- バケツ



2. 新聞紙を一枚ずつ軽く丸め、水の入ったバケツに入れていく (3~4枚)



3. 新聞紙がグチャグチャ (やわらかく) なるまで適度に押しもみをする



4. バケツから取り出し、雑巾をしぼるように、水分を切りながら形を整える。



5. 雨のかからないように、室内や屋外で1週間~10日乾燥させる。



<使い方>

◆ポイント◆

単独で使用せず、薪と一緒に混焼させると補助燃料として有効です
(火持ちは30分程度です)



※現在、軽い力で簡単に絞れる「圧縮整形器」を考案中です。
完成しましたらご紹介いたします。